

子どもの実態と ペアレンティング

田村 徳子

子どもが育まれる環境として、親は最も重要な存在のひとつだと言えよう。はじめての子どもを持つ妻と夫がどのように親性を発達させていくのかを、0歳児の生活の実態と妻・夫の子育ての行動と意識からみていきたい。

■ 0歳児の授乳状況

図2-1は0歳児の授乳状況である。「母乳のみ」が51.6%、「母乳とミルクの混合」が37.6%、「ミルクのみ」が10.7%と、母乳保育が多く見られた。また、断乳（卒乳）の状況を聞いたところ、断乳（卒乳）したのは13.5%で、授乳中が多い状態だった。

■ 0歳児の生活の様子

0歳児の生活の様子について、運動3項目、生活リズム3項目、性質や性格4項目できいた（図2-2）。運動と生活の6項目で「あてはまる+ややあてはまる」でみていくと、「毎晩、だいたい決まった時間に眠くなる」77.7%、「食事の時に食べる量は毎日同じくらいの量である」61.6%、「お気に入りのおもちゃならいつも10分以上続けて遊ぶ」46.7%、「ベッドやお布団に入ってから眠りにつくまでの時間は一定だ」44.0%だった。一方、性質や性格の4項目で「気が散りやすい」30.8%、「かんしゃくをおこしやすい」20.6%、「一度ぐずるとなだめにくい」14.6%だった。0歳児の場合、まだ発達にばらつきがあり、全員が規則的に生活を送っているわけでも、おだやかに過ごしているわけでもない状態がうかがえた。

図2-1 母乳かミルクか

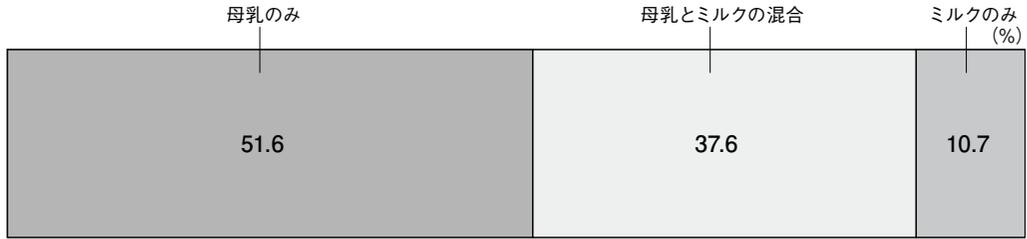


図2-2 子どもの様子



■妻と夫が日々の子育てにかかわる頻度

0歳児に対して妻と夫は、どのくらいかかわっているだろうか。4項目（子どもと遊ぶ、おむつ替え・トイレ、寝かしつけ、落ち着かせる）でみた。妻をみると（図2-3）、4項目すべてで「ほとんど毎日する」が9割以上だった。一方、夫で「ほとんど毎日する」と回答している割合をみると（図2-4）、「○○ちゃんと遊ぶ」52.5%、「○○ちゃんのおむつ替え・トイレ」29.4%、「寝かしつけ」や「落ち着かせ」は1割程度だった。0歳児からすると、妻である母親と夫である父親とで接する頻度では、妻である母親が圧倒的に多いという結果になった。今回の調査で、夫は就業が9割をこえ、1日の実働時間も8時間以上が9割をこえることを考えると、夫が0歳児にかかわる頻度には限界がある。だからこそ、0歳児と夫にとって、遊んだり、おむつ替えをしたりする時間は、親子の愛情関係を結ぶ上で貴重な機会になるといえよう。

■日々の子育ての大変さ

妻と夫は、日々の子育てに対してどのくらい大変に感じているだろうか。かかわる頻度と同じ4項目で大変さをきいた（図2-5、図2-6）。「とても大変である」+「やや大変である」では、妻も夫も「寝かしつけ」や「落ち着かせ」で3割以上が大変と思っており、すべての項目で妻のほうが夫より高くなっていた。さらに「とても大変である」でみると、「おむつ替え・トイレ」や「寝かしつけ」「落ち着かせ」で、逆に夫のほうが妻よりも高い割合で大変だと感じていた。妻は0歳児にかかわる頻度が高い分、最初は幼い命を目の前にどうしていいのか戸惑う大変さが、0歳児後半になると毎日かかわる大変さが加わり、大変さの質が変わってくるのではないだろうか。一方、夫は0歳児にかかわる頻度が低い分、日々の大変さは少ないものの、「おむつ替え・トイレ」や「寝かしつけ」、「落ち着かせ」になかなか慣れず、「とても大変である」と感じるのだろう。

●子育て生活の経験とストレス、悩み

0歳児を育てる生活で、妻と夫は、子育てでのストレスをどれくらい経験し、感じているだろうか。子どもとのコミュニケーションや、住居・近隣の環境、自分1人や夫婦で過ごす時間の有無など、ストレスになり得る12項目について経験の有無をきき、「経験したことがある」と回答した項目に対しては、それぞれ「非常にイライラする」から「イライラしない」までの5段階でストレスの強度をきいた。

図2-7は経験率である。経験したことの多い項目をみると、夫婦ともに上位4位までに入ったのは「あなたがおもちゃや散らかっているものを片付け続けている」（0歳児期妻94.8%、0歳児期夫76.9%）、「自分のための時間を確保するのが難しい」（妻82.7%、夫64.3%）、「子どもに遊んでとせがまれる」（妻78.3%、夫71.2%）、「夫婦2人のための時間を確保するのが難しい」（妻75.0%、夫65.9%）だった。0歳児とのかかわりで片付けや遊びが生まれ、0歳児が家族の生活に加わったことで自分の時間や夫婦2人のための時間が減っている様子が見えてくる。

経験したことによるストレスの多い項目（図2-8）をみると、夫婦ともに上位4位までに入ったのは「夜泣きがひどい」（0歳児期妻57.7%、0歳児期夫41.2%）、「住居の間取りの使

図2-3 育児の頻度 (0歳児期妻)

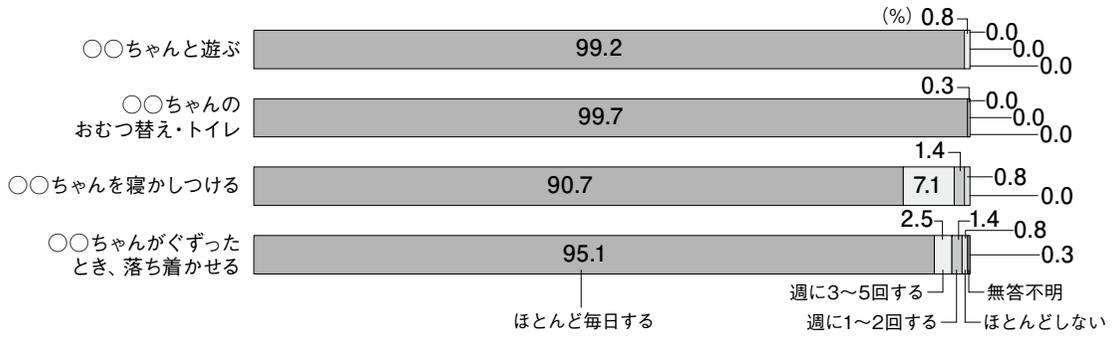


図2-4 育児の頻度 (0歳児期夫)

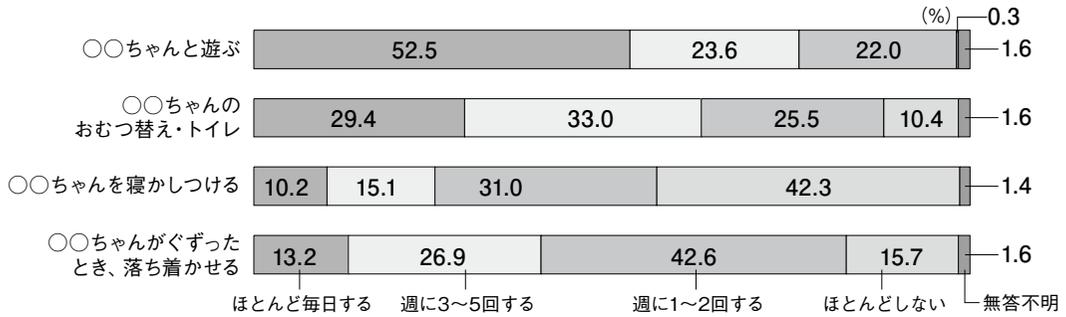


図2-5 育児の大変さ (0歳児期妻)

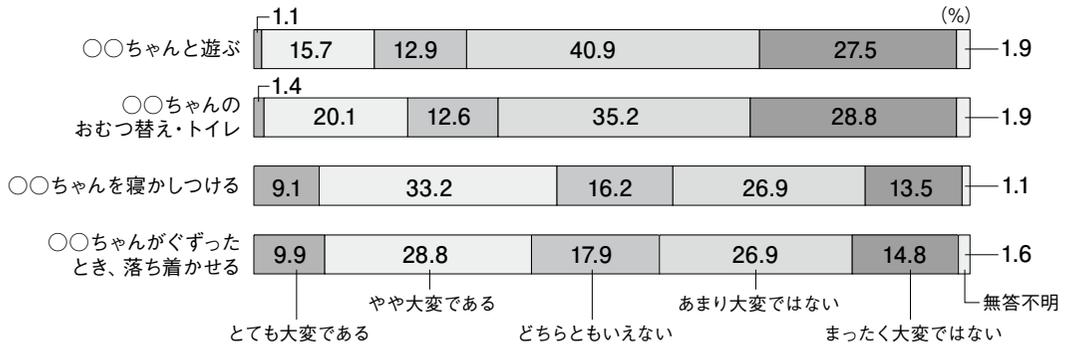
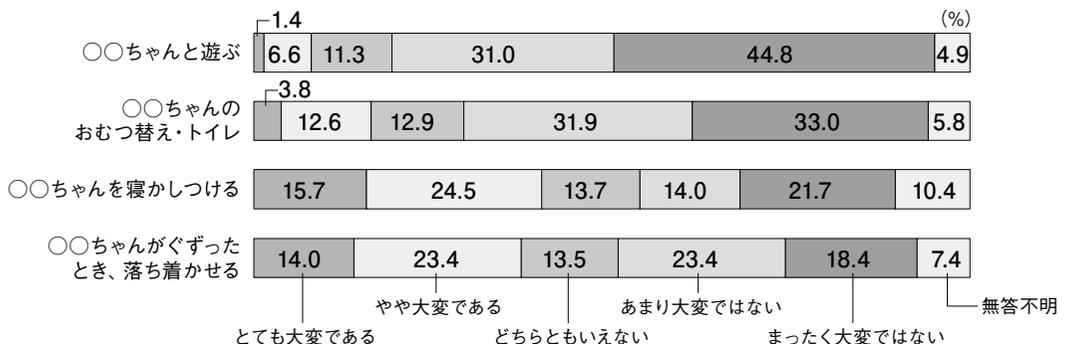


図2-6 育児の大変さ (0歳児期夫)



い勝手が悪く、家事や育児がしづらい」(妻57.2%、夫42.6%)、「自分のための時間を確保するのが難しい」(妻50.5%、夫35.9%)、「家の中に子どもが遊べるスペースがあまりなくて苦労する」(妻40.4%、夫38.8%)だった。

《経験は少ないが、ストレスは高い》

・夜泣き(0歳児期妻の経験率48.1%、0歳児期妻のストレス57.7%)…経験する割合は高くないがストレスが夫婦とも高かった。睡眠を子どもの泣き声でさえぎられ、おさまるまであやさなければならぬことに加え、近隣への気遣いもストレスに感じるだろう。

・「住居の間取りの使い勝手が悪く、家事や育児がしづらい」(0歳児期妻の経験率44.2%、0歳児期妻のストレス57.2%)「家の中に子どもが遊べるスペースがあまりなくて苦労する」(経験率31.3%、ストレス40.4%)…経験する割合は高くないが、ストレスが夫婦ともに高かった。住居空間が子どもにとって危なかったり狭かったりするなど使いづらさが日々気になると思われる。

《経験が多く、ストレスが高い》

・自分のための時間を確保するのが難しい」(0歳児期妻の経験率82.7%、0歳児期妻のストレス50.5%)…経験する割合もストレスも高い…0歳児のいる生活は、0歳児からなかなか目が離せず、まとまった時間が取れないと感じているのではないだろうか。

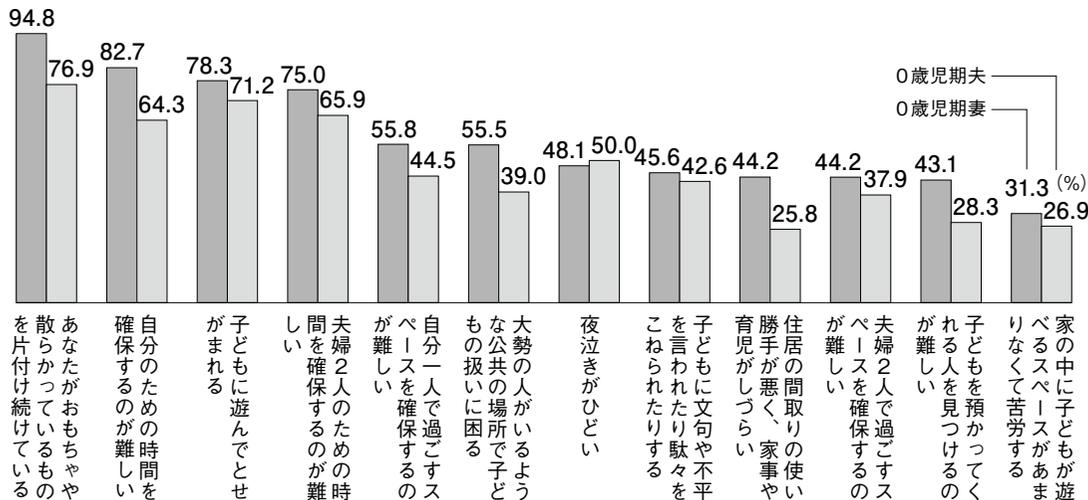
《経験が多く、ストレスが低い》

・「あなたがおもちゃや散らかっているものを片付け続けている」(0歳児期妻の経験率94.8%、0歳児期妻のストレス13.1%)、「子どもに遊んでとせがまれる」(0歳児期妻の経験率78.3%、0歳児期妻のストレス8.1%)…経験したことがある割合は高いがストレスが低かった。0歳児とのかかわりで生まれるものは大きなストレスにはならないと思われる。

■0歳児に対する養育態度

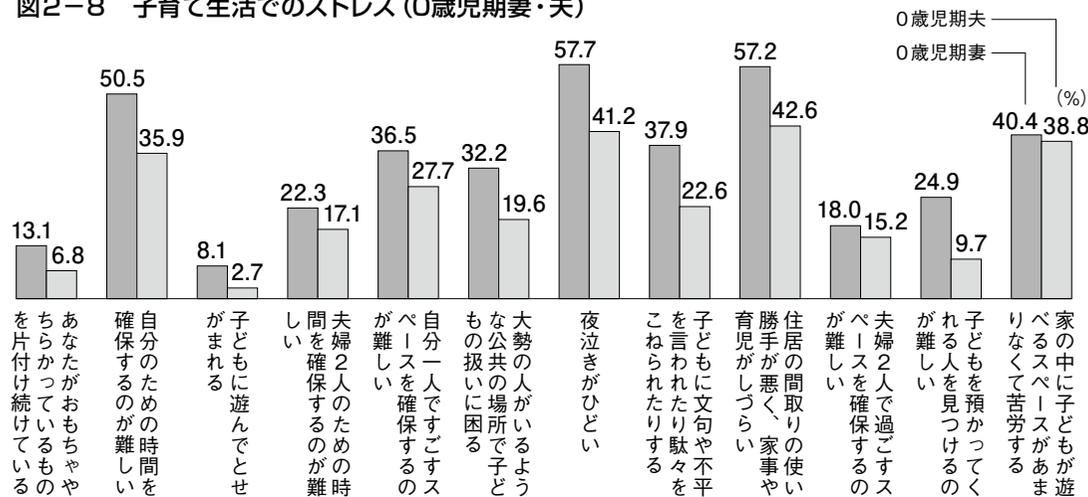
はじめての子どもを持つ妻・夫は、子育て期間が1年に満たない0歳児の時期に、子どもに対してどのように接しているだろうか。子どもへの接し方を5項目で、きいた(図2-9)。その結果、夫婦ともに「○○ちゃんをしっかりとしつけるのは親の役目だと思う」が8割以上と、子育て意識の高さがうかがえた。妻と夫を比べると、妻は「○○ちゃんに『おはよう』『ありがとう』などあいさつの声かけをしている」「○○ちゃんを傷つけるような言動をした場合、私は素直に○○ちゃんに『ごめんね』と言える」など、具体的な言葉がけについての回答が高かった。一方、夫は「○○ちゃんをしっかりとしつけるのは親の役目だと思う」「○○ちゃんに温かくやさしい声で話しかけている」など意識や態度についての回答が高い結果となった。

図2-7 子育て生活での経験(0歳児期妻・夫)



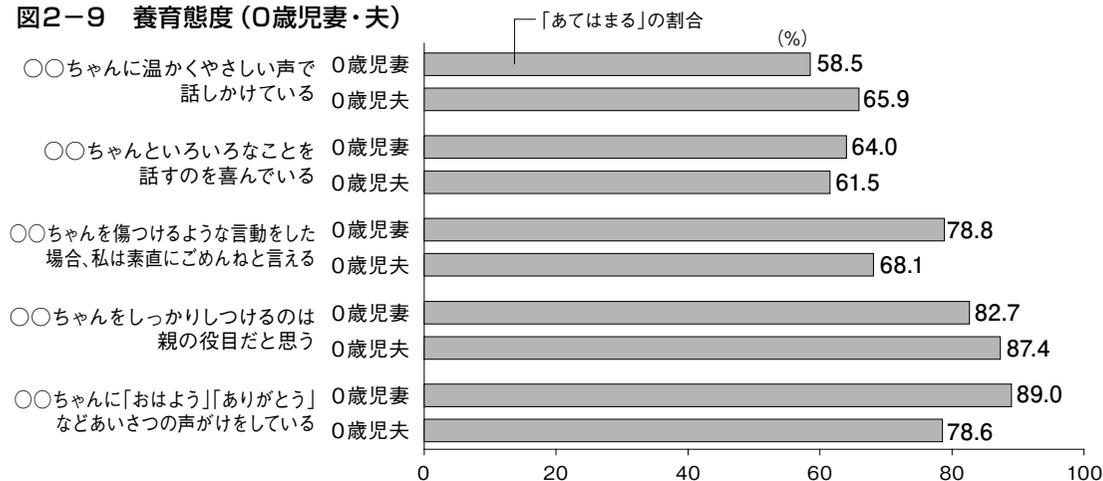
注)「経験あり」の割合

図2-8 子育て生活でのストレス(0歳児期妻・夫)



注)「非常にイライラする」+「ややイライラする」の割合。(「経験あり」の人のみ)。

図2-9 養育態度(0歳児妻・夫)



■子育ての自信と不安

0歳児は日々の成長が著しい。では、日々接する中で、妻と夫は、自信や不安を感じている人はどのくらいいるだろうか。図2-10は、子育ての自己評価「子育てに自信が持てるようになった」と「子どもがうまく育っているか不安」の結果である。「子育てに自信が持てるようになった」で「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人を自信あり群、「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた人を自信なし群とする。また、「子どもがうまく育っているか不安」で「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた人を不安あり群、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えた人を不安なし群とする。これらの自信2群、不安2群で、はじめての子どもを持つ妻と夫が、どのように親性を発達させていくのかをみていきたい。

■0歳児の生活の様子と妻の子育ての自信・不安

子育ての自信・不安と子どもの生活の様子10項目（活動3項目、生活リズム2項目、食事1項目、性格や性質4項目）の関係をみると、子育ての自信で差が見られたのは、妻の4項目だった（図2-11）。「毎晩、だいたい決まった時間に眠くなる」は、「あてはまる」において自信あり群41.3%、自信なし群29.7%と約10ポイントの差がみられ、「一度ぐずるとなだめにくい」「ちょっとしたことで激しく泣く」でも、「あてはまらない」で自信あり群と自信なし群にそれぞれ10ポイント以上の差が見られた。妻の不安あり群となし群の場合、不安あり群は性格や性質の4項目で、不安なし群よりあてはまると答える傾向がより多く見られた。妻にとって、生活リズムが整っていることに子育ての自信を感じ、子どもの性格や性質が難しいことに子どもがうまく育っているか不安を感じ、子育てへの自信を感じられない状態になっていると思われる。

同様の傾向が、子育ての悩みでもみられた（図2-12）。不安あり群・なし群ともに「生活リズムが規則的にならない」に多く回答しており、妻の多くが生活リズムを気にしている様子がうかがえた。一方、不安あり群となし群で差がみられたのは「○○ちゃんの性質や性格が気になる」であり、不安あり群34.0%、不安なし群5.8%だった。なお、子育て不安あり群は、子育ての悩みに対して多くの項目にわたって悩んでいると回答していた。

■子育てにかかわる頻度と夫の子育ての自信

図2-13は、夫の子育ての自信・不安と、子育てにかかわる頻度をみたグラフである。「○○ちゃんと遊ぶ」では、「ほとんど毎日する」において、自信あり群64.2%、自信なし群47.2%と17ポイントの差があり、「○○ちゃんのおむつ替え・トイレ」「○○ちゃんがぐずったとき、落ち着かせる」では、「ほとんど毎日する」＋「週に3～5回する」において10ポイント以上の差がみられた。0歳児と遊んだり、おむつ替えをしたり、ぐずったときに落ち着かせたりするなどかかわるほど、子育ての自信が築かれる様子がうかがわれる。

図2-10 子育ての自信・不安 (0歳児期妻・夫)

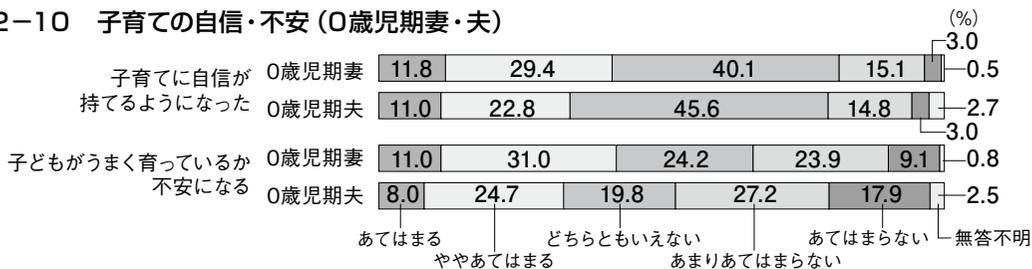


図2-11 子どもの生活の様子と子育ての自信 (0歳児期妻)

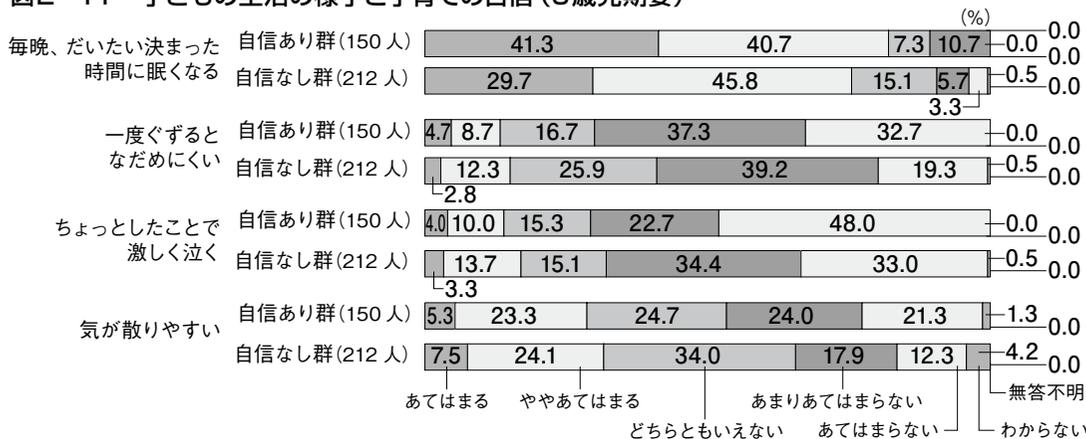
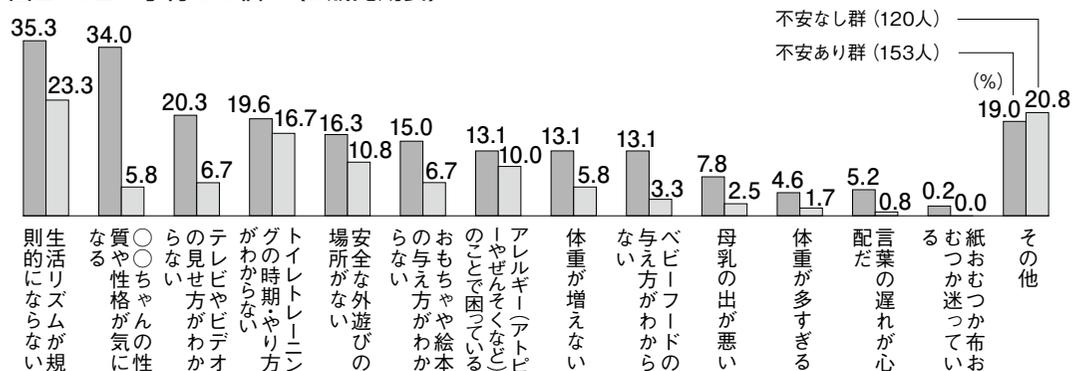
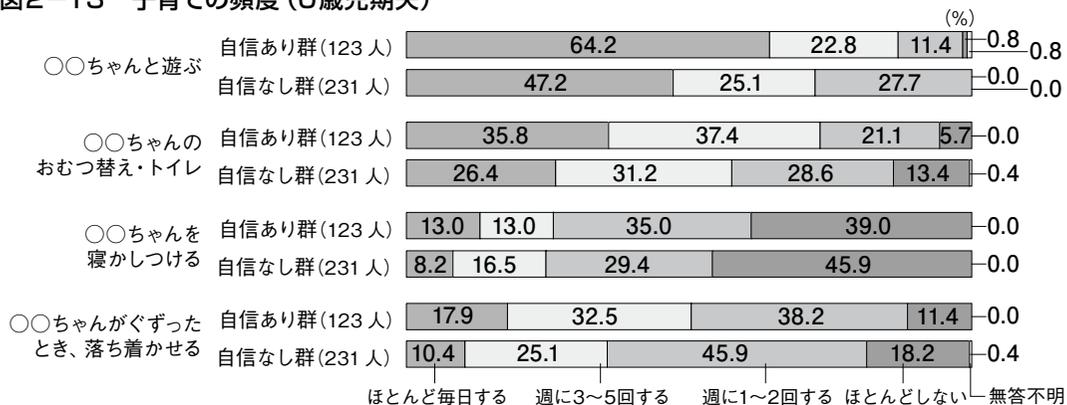


図2-12 子育ての悩み (0歳児期妻)



注) 複数回答。

図2-13 子育ての頻度 (0歳児期夫)



■養育態度と妻・夫の自信と不安

養育態度と自信・不安にはどのような関係はあるだろうか。妻の場合、図2-14のように「〇〇ちゃんに『おはよう』『ありがとう』などあいさつの声かけをしている」は、子どもの育ちに不安あり群・なし群に差はなく、「あてはまる」と約9割が回答していた。一方、「〇〇ちゃんに温かくやさしい声で話しかけている」（不安あり群53.6%、なし群71.7%）「〇〇ちゃんといろいろなことを話すのを喜んでいる」（不安あり群58.8%、なし群70.8%）「〇〇ちゃんをしっかりとしつけるのは親の役目だと思う」（不安あり群86.3%、なし群77.5%）で差がみられた。子育てに不安がある場合子どもをしっかりとしつけようという気持ちから、温かくやさしい声で話しかけたり、話すのを喜んだりしていないという気持ちがあるのかもしれない。夫の場合、自信あり群のほうが「あてはまる」と回答する割合が高く、子どもに積極的にかかわる様子が見えられた。

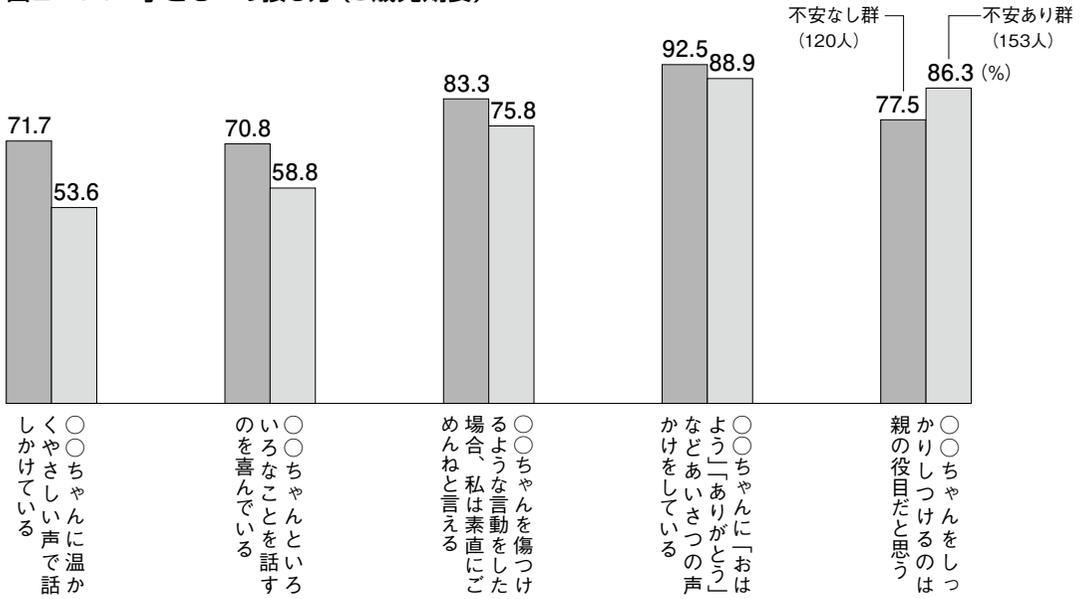
■夫婦での子育て

子どもが家族に加わる中で、はじめて得る喜びや戸惑いもあるだろう。最後に、0歳児を持つ妻と夫はどのように協力して、子育てに取り組んでいるかをみていきたい。

夫婦関係の項目のうち、子育てに関係する8項目をみると、すべての項目で夫婦同様の傾向が見られた（図2-15）。「あてはまる」でみると、「私の配偶者は家族と一緒に過ごす時間を努力して作っている」「私の配偶者は、家庭内で問題が起こったとき、大抵の問題に関して積極的に解決しようとしてくれる」が妻・夫とも半数を超え、「私の配偶者は、私の悩みや不満によく耳を傾けてくれる」「私の配偶者は、私の仕事、家事をよくねぎらってくれる」も半数近くに達していた。一方、「私は、配偶者の仕事、家事をよくねぎらっている」は約3割、「私は、配偶者の悩みや不満によく耳を傾けている」が約2割と、配偶者に対してできていないと感じていた。「私と配偶者は、〇〇ちゃんをどう育てるかについてよく話し合っている」が約4割、「私と配偶者は、〇〇ちゃんの子育てのお手伝いを頼める人や場所についてよく話し合っている」は2割弱だった。

これらから、0歳児を持つ夫婦は、配偶者は家族と過ごす時間を作ってくれ、問題を解決してくれ、悩みや不満を聞いてくれ、ねぎらってくれ、子どもの育て方について話し合ってくれているが、自分は配偶者の悩みや不満を聞いたり、ねぎらったりすることが少ないと感じているようだ。0歳児が家族に加わることで、妻と夫は互いに、「配偶者だけをみつめ、配偶者からのねぎらいを受ける関係」から「自分は0歳児と配偶者に関心が二分されるが、配偶者からの時間やねぎらいの言葉を自分だけでなく0歳児とともに二人分受けとめる関係」に移行しているのかもしれない。

図2-14 子どもへの接し方(0歳児期妻)



注) 「あてはまる」の割合。

図2-15 夫婦関係と子育て(0歳児期妻、夫)

